



2014.2  
yaichi.M

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2018-19



## CONTENTS

ガバナーズレター	1	新会員紹介	20
ロータリー研究会	5	ご寄付感謝	20
ロータリー研修デー	6	規定審議委員会からのお知らせとお願い	21
ローターアクトクラブ公式訪問（会長の抱負）	11	ガバナー事務所からのお知らせ	21
東播第1グループIM、淡路グループIM	13	訃報	21
神戸第1グループIM	14	出席報告	22
1・2月の地区活動予定	14		
龍野ロータリークラブ創立60周年記念式典	15		
伊丹RC第60回サンクスギビングディ ナーパーティー	15		
米山文化セミナー	16		
国際ロータリー「ロータリー学友ネットワーク」 加盟認証状伝達式	16		
地区補助金（芦屋川、宝塚、尼崎南、神戸西神）	17		
VTTプロジェクト	19		

GOVERNOR **Muneyoshi Yano**



## 国際ロータリー第2680地区 ロータリークラブ会長、幹事の皆様



国際ロータリー第2680地区  
ガバナー 矢野 宗司 (加古川中央)

新年おめでとうございます。そして、ロータリー年度としては後半戦に入りました。今後ともよろしくお願い致します。

さて、1月は職業奉仕月間です。それを踏まえて、今月は10月号の続きについて職業奉仕を中心に触れていきます。10月号では初期ロータリーについて、ロータリー倫理訓、ロータリー通解、決議23-34までを述べました。すなわち、ロータリー倫理訓、ロータリー通解によって、ロータリーは倫理運動の要素を強めていき、決議23-34によって、ロータリーの理念と哲学が確定されることになりました。その後のロータリーはどのように展開していったのでしょうか。

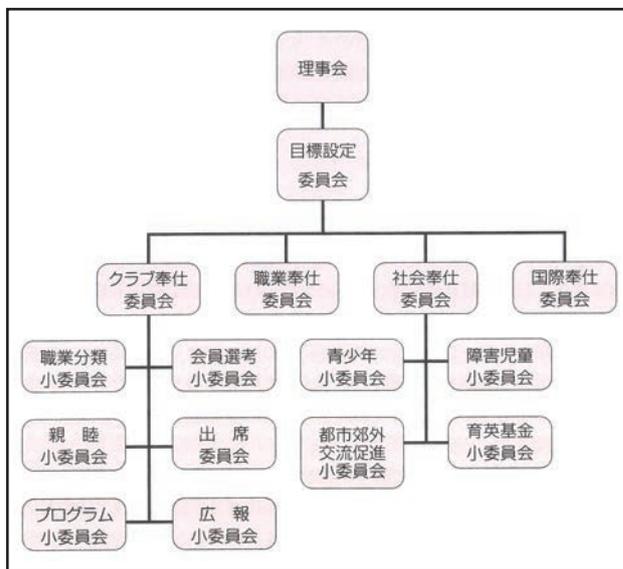
### 1. 四大奉仕部門の採択

決議23-34によって、初期ロータリーの理念が確定し、ロータリーは実践哲学であるとされたものの、奉仕活動の実践については、明確な基準というものはありませんでした。

そして、1927年、ベルギーのオステンド国際大会で、「目標設定計画 (The Aims and Objects Plan)」が採択され、それまでの包括的な奉仕概念が、クラブ奉仕 (Club Service)、職業奉仕 (Vocational Service)、社会奉仕 (Community Service) の3つの部門に分けられ、さらに翌年のミネアポリス国際大会で、国際奉仕 (International Service) が追加、ここからロータリーは奉仕活動として4つの分野に細分化されて進められることとなります。(※決議23-34におけるCommunity Serviceは細分化される前の広義の意味であり、1927年以後と区別する必要があります。)

また、この年にはロータリー倫理訓の頒布が中止されます。このことから国際ロータリーにおいては、それまでの内へのベクトルである倫理運動から外へのベクトルである奉仕活動へ舵を切ることになります。

国際ロータリーは理事会の下に目標設定委員会を設け、その下にクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の委員会が置かれることになり、組織は再編され、現在のクラブにおける組織の原型が生まれることとなります。



当時の国際ロータリーの組織 (ロータリー情報ハンドブックより)

よく、職業奉仕はロータリーの根幹と言いますが、実際には、ロータリーの中では四大奉仕部門の一つとして位置づけられることとなります。職業奉仕 (Vocational Service) という言葉が生まれたのも、この時です。

そして、1928年、この四大奉仕についての解説書であるビビアン・カーターの「The Meaning of

Rotary」(田中毅PDG訳「ロータリー解析」)が  
発刊されます。ポール・ハリスがその著書「This  
Rotarian Age」の中で、ロータリアン必携の書と  
して紹介する「The Meaning of Rotary」は、ロー  
タリーの理念と活動を会員に理解してもらうために  
書かれた書で、初期のロータリーを理解するために  
役立つ書です。そこでは、ロータリーの目的と奉仕  
理念について明確な解説があり、また、職業奉仕に  
ついては、ロータリー通解の引用のもと、職業にお  
ける倫理運動が職業奉仕の根幹として述べられてい  
ます。

「The meaning of Rotary」について、田中毅  
PDGの訳をもとに触れていきます。

## 2. 「The Meaning of Rotary」に見る奉仕の理念 と職業奉仕

第1章「奉仕の理念」では、「ロータリーの目的  
は、すべての尊ぶべき事業の基礎として、奉仕の理  
念を奨励し、育成することにある。」とし、その理  
念はわずか2行からなるロータリー宣言から前進が  
始まったとされています。すなわち、

- ・ Service is the basis of all business.  
奉仕こそすべての事業の基礎である。
- ・ He profits most who serves best.

最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。  
の2つです。「ロータリーは素晴らしいスローガン  
を持ち、個々のロータリアンは会員として入会する  
前提として、少なくとも利己的な考え方をする以前  
に、事業を通じて奉仕するという原則に立たなければ  
ならないことを理解することが期待されている」と述  
べています。

さらに、「ロータリアンが提唱する奉仕とは、個  
人の事業において奉仕することである。ロータリア  
ンは奉仕の理念を受け入れて、自らの事業にそれを  
適用しなければならない。ロータリークラブは選ば  
れた実業及び専門職務の人たちによって構成されて  
いるクラブであり、各々の会員は自らの考えや方法  
や条件に従って、自らのやり方で職業を通じて、奉  
仕の理念を実践に移さなければならない。」と述

べ、また、クラブの例会については「ロータリーの  
使命として、奉仕の理念を基本にして修練を積む教  
育機関」としての位置づけを強調しています。

現在のRIの変化と方向性を批判し、原点回帰を訴  
えるロータリアンの考えの根拠の一つはこの論によ  
るものと言えます。

また、1935年のメキシコ・シティー大会におい  
て、四大奉仕に対応した項目に整理される形でほぼ  
現在と同じ「ロータリーの目的(綱領)」が改正さ  
れました。

※この時のロータリーの目的はObjects of Rotaryで  
あったのが、1951年にはObject of Rotaryと改正さ  
れ、1つの主文と4つの付随項目になりました。

## 3. アーサー F. シェルドンの役割

ここで、これまで何度も触れてきた“*He profits  
most who serves best*” (※現在は、heはoneに置  
き換えられている)を提唱したシェルドンについて  
触れていきましょう。

1908年、シカゴRCに入会したシェルドンは、そ  
れまで親睦と会員の相互扶助の存在でしかなかった  
ロータリーに新しい経営学に基づく奉仕理念を  
提唱しました。すなわち、継続的な事業の発展を  
得るためには、自らの利益を優先するのではなく、  
職業を通じて社会に貢献することによって、  
事業を営むべきであるという経営哲学です。シェ  
ルドンのビジネススクールは多くの卒業生を輩出  
し、また、ロータリークラブ連合会のBusiness  
Method Committee委員長として、多くのロータリ  
アンの支持を得ました。まさに初期ロータリーの  
主役であったと言えます。

しかしながらシェルドンとロータリーの関わりは  
そう長くは続きませんでした。彼のprofitという表  
現、すなわち金銭的な利益を意味する表現に反発  
し、モットーから外そうとする運動が高まる中で、  
1921年のエジンバラ大会での「ロータリー哲学」と  
題した講演を最後に、シェルドンはロータリーとの  
関わりをなくし、ついに1930年に退会することと  
なります。



シェルドンの墓にはインド哲学から学んだ「奉仕の三角形」と He profits most who serves best. が刻まれている。

#### 4. 世界大恐慌と四つのテスト

1929年10月24日に起こったウォール街の株価大暴落を契機とした世界大恐慌はその規模と影響範囲は大きなものとなり、ロータリーにも及びます。着実に増えていた会員数も1932年からの数年間は減少に転じます。その時代において、倒産の危機に瀕していた調理器具メーカーを再建させるために商取引の公正さを測る尺度として作られたハーバート・テラーの「四つのテスト（The Four-Way Test）」は、やがて簡明な倫理指針として、ロータリーに広まります。1943年、RI理事会は「四つのテスト」を正式採用し、ロータリーの基本理念の一つとなります。

「4つのテスト」言行はこれに照らしてから。  
THE FOUR-WAY TEST of the things we think, say or do.

- 1、真実かどうか  
Is it the TRUTH?
- 2、みんなに公平か  
Is it FAIR to all concerned?
- 3、好意と友情を深めるか  
Will build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- 4、みんなのためになるかどうか  
Will it be BENEFICIAL to all concerned?

#### 5. 変わりゆく職業奉仕

1948年、パーシー・ホジソンが、「Service is My Business（奉仕こそわがつとめ）」を刊行し、職業奉仕の具体例を示し、ロータリアンが職業奉仕を実

践するにあたっての項目を提示する一方で、国際ロータリーにおける職業奉仕委員会は廃止されます。また、1951年には「ロータリー倫理訓」も手続要覧から削除されます。一方、1987年、RI理事会は「職業奉仕に関する声明」を採択し、職業奉仕委員会を40年ぶりに復活させます。（※その後、職業奉仕委員会は常設の委員会ではなくなります。）

##### ①職業奉仕に関する声明

「職業奉仕に関する声明」は次のような内容です。「職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理念を生かしていくことをロータリーが育成、支援する方法である。」とし、「あらゆる職業において最も高度の道徳的水準を守り、推進すること、自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること」と述べ、さらに、「クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って、自らと自分の職業を律し、併せてクラブが開発したプロジェクトに応えることである」とし、職業奉仕概念を変更しました。

##### ②ロータリアンの職業宣言

続いて1989年、「ロータリアンの職業宣言」を採択します。この職業宣言はロータリー理念の確認のもと、具体的に8つの項目を挙げて、改めて、ロータリーの倫理運動を強調するもので、ロータリー倫理訓の現代版と言えます。とりわけ、最後の2項目は誇大広告の禁止及びロータリアンへの便宜並びに特典供与を戒めています。

ロータリアンの職業宣言

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私には以下のごとく行動することが求められている。

1. 職業は奉仕の一つの機会であると考えること。
2. 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳基準に対し、名実ともに忠実であること。
3. 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理基準を推進するために全力を尽くすこと。
4. 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係を持つすべ

ての人々に対し、公正であること。

5. 社会に役立つすべての仕事に対し、それに伴う名誉を認め、敬意を表すること。
6. 自己の職業上の才能を掲げて、青少年に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めること。
7. 広告に際して、また自己の事業または専門職務について人々に伝える際には、正直を貫くこと。
8. 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めたり、与えたりしないこと。

### ③ロータリアンの行動規範

2011年、会員基盤の多様化に照合する形で、「ロータリアンの職業宣言」が改定され、「ロータリアンの行動規範」が作成され、2014年に現在の文章となりました。

#### ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自己の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

### ④2016年の標準ロータリークラブ定款

2016年の規定審議会を踏まえて、標準ロータリークラブ定款において、第6条五大奉仕部門の2項の職業奉仕について、その後半部分に次の文章が加わりました。

そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。

これはすでに述べた1987年の「職業奉仕に関する

声明」を定款に加えたものであります。そして、これを踏まえて国際ロータリーでは職業奉仕委員会を奉仕プロジェクトの一つとして位置づけ、また、2017年6月の理事会において、職業奉仕委員会の責務を社会奉仕委員会に統合することが決定されました。一方、これについて日本のロータリアンの中には大きな批判があります。

12月2日のロータリー研修デーでの本田博己氏の講話は大きなインパクトを会員に与えました。日本の職業奉仕論と世界の職業奉仕との違いを説く氏の講話は非常に説得力がありました。

ところで、日本のロータリーにおける職業奉仕論は大きく分けて、シェルドン派、天職派、倫理派に分かれます。ポール・ハリスはその書の中で、

“Leaders must temper their judgment with patience and kindly forbearance. No dogmatic Rotary can be serviceable.” すなわち、「リーダーは忍耐と慎みをもって柔軟な判断をしなければなりません。教条主義ロータリーでは役に立つことはできません。」と述べ、教条主義を批判しています。教条主義とは、ある特定の原理、原則に固執する考えや態度を言います。日本のロータリアンは、職業奉仕に対する研究に極めて熱心ですが、そのことが戦前の日本のロータリーの孤立主義の歩みにつながるかという懸念もあります。そこで、次号では日本のロータリーのこれまでの歩みについて触れていきます。



日岡神社：うっすらと雪が積もった安産の神様で有名な日岡神社。加古川も冬に何度か雪が積もります。その昔、第12代景行天皇の皇后の安産を祈願し、無事双子の皇子が生まれました。その一人が有名な倭建命(やまとたけるのみこと)です。

# 第47回ロータリー研究会

11月20日(火)～21日(水)◆神戸ポートピアホテル ポートピアホール

第47回ロータリー研究会実行委員会総務担当 **三木 健義**(姫路)

第47回ロータリー研究会は、2018年11月18日(日)のロータリー財団地域セミナー、11月19日(月)のメジャードナー写真撮影及び午餐会、AKS(アーチ・クランフ・ソサエティ)入会式、そしてガバナー会やGETS(ガバナーエレクト研修セミナー)、GNTS(ガバナーノミネーター研修セミナー)などの付随プログラムに続いて、19日(月)夜のバリー・ラシンRI会長ご夫妻及びマリオ・セザール・デ・カマルゴロータリー財団管理委員ご夫妻の歓迎晩餐会をはじめとして、20日(火)から21日(水)にかけて、神戸ポートピアホテルにて開催されました。

プログラムの内容は、右に掲載しているとおりですが、2680地区からは、歓迎晩餐会司会に安平和彦パストガバナー(研究会実行委員長)、希望晩餐会司会に丸尾研一パストガバナー、1日目の司会に滝澤功治パストガバナー、2日目の司会に中村尚義パストガバナーのご協力を、また、パネリストとして、第1セッションには、福山太一会員(HYOGO REC)、第3セッションには、黒田建一危機管理委員長、第4セッションには、滝澤功治パストガバナーが発表されました。

この研究会は、毎年日本からのRI理事就任年度の新しい理事の所属クラブが中心となって、そのクラブが所属する地区の協力を得ながら開催されています。今年石黒慶一RI理事(鶴岡西RC)と三木明RI理事(姫路RC)が招集者でしたので、就任年度の新しい三木明RI理事(姫路RC)が中心となって、2680地区の協力を得ながら開催されました。内容については、RI会長のお話や、ロータリー財団管理委員のお話、この研究会でDDFの活用を訴えるために来日されたロンD.バートンロータリー財団管理委員長のお話、そして若い人びとの活動や危機管理に焦点を当てたセッション、日本での職業奉仕を考えてみようというセッション、そして、2019年の規定審議会に向けてのセッションなどを交え、各種報告や説明、日本のロータリー100周年を記念した事業の表彰などがありました。参加者についても地区委員長まで案内を広げこれからロータリーで活動しようという人にとっての意識付けになったと思います。

ご協力、ご参加いただいた皆様に感謝致しますとともに、来年も引き続き三木明RI理事招集にて開催されますので、よろしくお願い申し上げます。



## ロータリー研究会 第1日 2018年11月20日(火)

### 各種報告

- ・RI理事会近況報告
- ・RIの5カ年財務見通し計画
- ・ロータリー財団近況報告
- ・ポリオ・プラスの現況報告
- ・RI会長指名委員会報告
- ・2019年ハンブルグ国際大会のご案内
- ・2020年ホノルル国際大会のご案内
- ・ロータリー日本財団報告
- ・ロータリー米山記念奨学会報告
- ・ロータリーの友委員会報告
- ・ロータリー文庫運営委員会報告
- ・ロータリー日本100年史編纂委員会報告
- ・日本のロータリー100周年実行委員会報告
- ・2018年決議審議会報告
- ・日韓親善会議報告
- ・ロータリーカードのご案内
- ・翻訳委員会の発足
- ・「日本のロータリー100周年」記念ピンバッジコンテスト表彰式
- ・国際ロータリーおよびロータリー財団国内委員紹介

### 発表・講演・セッション

- ・東京広尾RC服部陽子DGによる  
ロータリーモーメント(心に残るロータリー体験)
- ・RI会長基調講演  
「BE THE INSPIRATION」インスピレーションになろう
- ・ロータリー財団管理委員基調講演「世界でよいことをしよう」  
第1セッション「若い人びとの参加」
- ・ロータリー財団管理委員長講演「DDFの活用促進」  
第2セッション「職業奉仕と日本人ロータリアンの心」

## ロータリー研究会 第2日 2018年11月21日(水)

### 発表・講演・セッション

- ・仙台北泉RC菅原裕典PDGによる  
ロータリーモーメント(心に残るロータリー体験)
- ・「世界を変える行動人」推進キャンペーン
- ・第3セッション 「若者を守ろう・危機管理」
- ・第4セッション 「規定審議会に向けて」
- ・記念講演「スーパーコンピューター・京と若い人びと」  
元理化学研究所計算科学研究機構統括役 井上愛一郎氏
- ・オープン・フォーラム(質問表に対する回答他)

12月2日(日)◆加古川プラザホテル・加古川商工会議所会館



例年、10～12月に開催される各種のセミナーを1日に集約して実施する「ロータリー研修デー」が、初めての試みとして実施されました。午前の部として4つのセミナー、午後からは2018年RI研修リーダーの本田博己氏による講話、続いて4つのセミナーがあり、それぞれ多くのロータリアンが参加しました。参加人数約600人、延べ登録数が975人と、会員の2割以上が参加し、地区研修・協議会に次ぐ規模となりました。以下、ロータリー研修デーの内容について報告します。

講 話 2018年RI研修リーダー  
本田 博己氏 (前橋RC)  
テ ー マ 「奉仕の理念」を实践しよう  
参加人数 230名

当初の予定人数を大きく上回り、急遽、席を追加する

ほどの活況で、講話への関心が伺えました。本田氏は2017年1月号の「ロータリーの友」において、『職業奉仕はロータリーの根幹か』をテーマに寄稿され、当時、大きな反響を呼びました。これに触れて本田氏は「従来語られてきた日本の職業奉仕論と国際ロータリー (RI) が推奨する職業奉仕は内容が異なる。世界のロータリアンは奉仕部門の一つとしての職業奉仕を語り、日本のロータリアンは、『奉仕の理念』の職業への適用や自分自身の職業観を語っている。それを踏まえて『職業奉仕』という言葉でなく、世界共通の『奉仕の理念 (The ideal of Service)』という言葉でロータリーの理念についての議論を深めていこう、なぜなら、『ロータリーの目的』は『奉仕の理念を奨励し、これを育むこと』であり、奉仕の理念がロータリーの根幹であるから」と提案されました。

また、私たちに必要な自問として、

- ・私たちのクラブは時代や社会の変化に対応できているだろうか
- ・私たちのクラブは社会に開かれているだろうか
- ・私たちのクラブは何処を目指すのか
- ・クラブのビジョンや目標に向かって何をすべきかの4つの問いを投げかけ、RI戦略計画におけるビジョン作りに呼応して、クラブも地区も、そして、日本のロータリー全体も、大きな転換期を乗り越えるために新しいビジョン作りに取り組む時ではないかと強調されました。

文責：ガバナー 矢野 宗司 (加古川中央)



## 多様化推進セミナー

加古川プラザホテル2階 高砂・尾上の間

「Change, or die 変化か、衰退か」のサブタイトルで開催したこのセミナーは、第1部委員会プレゼンテーションでは、当地区だけでなく日本や世界との比較も交え、新設クラブと従来型クラブを対象とした多様化に関する検証報告とし、会員基盤の多様性だけでなく、事務局運営、週報発行方法やその費用の具体的なクラブ運営についての比較分析結果を発表しました。第2部のパネルディスカッションでは、滝澤功治コーディネーターに

よって、HYOGOロータリーEクラブ会長、西宮イブニングRC会長、神戸モーニングRC会長への質問-回答形式で行われ、各会長よりクラブの特色、奉仕活動の内容、課題等々も含め現状報告やご意見を頂きました。

また、今年度では、月信IT化の一環として試験的に（2月号を予定）地区データから各クラブで取得頂くことの報告を致しました。

文責：多様化推進小委員長 梅原 可奈子（西宮イブニング）



## 公共イメージ研修セミナー

加古川プラザホテル2階 相生の間

ロータリーの公共イメージと認知度の向上は、ロータリーを知ってもらうだけでなくロータリーの内容を知ってもらうことです。ロータリアン一人一人が、ロータリーは何でしょう？ と聞かれたら、ロータリーのことを熱く語ることが必要です。そのためには、ロータリーの基本理念であるロータリーの目的・四つのテストと国際ロータリーの戦略計画を良く理解して、日々の行動に活

かすことが大切です。

また、広報を行うために、ロータリーデーや補助金プロジェクトを開催し、地元メディアの環境を知り、メディアと協力するためにプレスリリースを書くことが必要です。

また、若い世代にロータリーを知ってもらうためには、SNSを利用して、広報を行うことが必要です。

文責：公共イメージ委員長 山下 英世（神戸須磨）



## 社会奉仕セミナー

加古川商工会議所4階 大会議室

まず、他会場との掛け持ちの中駆けつけてくださった矢野宗司ガバナーに、「ロータリーの社会奉仕」について、ロータリーの社会奉仕の流れやその実践、今後の目指すべき方向性等を分かりやすく説明いただきました。

引き続き、半田齊社会奉仕委員長より、社会奉仕委員会の活動、地区補助金プロジェクト、社会奉仕アンケート結果について説明がありました。特に、当地区で毎年実施している社会奉仕アンケートは、他地区からも注目されていると強調されました。続いて、仲内悦治会員

(宝塚)と野並健治会員(甲子園)より、地区補助金プロジェクト実践事例発表がありました。

その後、山口より、発達障害講演会を中心とした教育問題への取り組みとRCC(ロータリー地域社会共同体)について、半田委員長より、プロバスクラブについてお話がありました。

約70名のクラブ社会奉仕委員長等に参加いただき、ロータリーの社会奉仕について学び合う貴重な機会となりました。

文責：社会奉仕副委員長 山口 宰(神戸西)



## 国際奉仕セミナー

加古川商工会議所1階 展示ホール

国際奉仕セミナーでは、石井国際奉仕委員会アドバイザーによる国際ロータリーの「奉仕の理念」の位置づけと、財団の基礎から国際奉仕の必要性を講義いただきました。

また、2018年7月から、グローバル補助金(以下GG)の各重点分野に対する総合的なガイダンスが施行されたので、安行国際奉仕委員長がその概要と申請への影

響を説明し、水谷国際奉仕副委員長からは、すでに実施されたカンボジアの、中尾委員からは台湾とのGGの内容とその必要性、効果などの説明がありました。

会場からの質疑では、特に、日本での少子化による外国人労働者受け入れに伴う様々な問題と解決策にGGの用途の可能性などの質問があり、日本でのGG申請に言及され、いろいろな問題提起の場となりました。

文責：国際奉仕委員長 安行 英文(三田)



## クラブ管理運営セミナー

加古川プラザホテル2階 瀬戸の間

現代のロータリーの課題を確認し、自クラブの「長期計画」を立案・推進していく機会とする為、セミナーのテーマは「クラブの長期計画」としました。

まず、「RIの戦略計画」から「クラブのサポートと強化」まで大室儁パストガバナーに説明して頂いた後、テーブルディスカッションに移りました。これは、有意義な議論や対話の場には、必ず明示された「目的と問い」があり、時間内で一定の発言時間を守り、多くの意見交換を行う事の大切さを経験して頂くためです。

日本のロータリークラブの課題、長期（戦略）計画の

必要性などを説明後、「クラブの現状を把握する」、「クラブのビジョン・長期計画」をテーマとしてディスカッションを行いました。その後、中村尚義パストガバナーからセミナーの「まとめ」として、当日配付した資料に基づき総括して頂きました。

ディスカッションでは他クラブとの意見交換によりインスパイアされ、お二人のパストガバナーからは役立つ知識を得られたと思います。これらを今後のクラブの変革に役立てて頂くことを願っています。

文責：クラブ管理運営委員長 城 守（姫路）



## 会員増強セミナーⅡ

加古川プラザホテル2階 鹿児の間

はじめに「会員増強物語 ―ベスト60人の心―」の出版披露と執筆者の皆様の紹介、記念撮影を行った。会員増強に大きく貢献された執筆者の手記は、ロータリアンにとっての宝物であると思う。委員長より、2018年7月～10月の4か月間の会員増強アンケート調査報告から、クラブの会員増強への取組の現状、クラブで新たに作成された会員増強プラン・会員数維持プランの主たる

内容を紹介、「会員増強物語」より心に残る言葉を披露、ロータリークラブの存在価値を考える、魅力あるロータリークラブを目指しての話があった。

神崎RC新増強プラン発表、入会3年過ぎの会員2名のロータリー観の発表、執筆者代表7名の心に残る話を聞いてセミナーを終えた。

文責：増強拡大委員長 宇尾 好博（神戸中）



## 職業奉仕セミナー

加古川商工会議所 1階 展示ホール

前段「歴史からひもとく職業奉仕」を共通テーマとして開催中の公開職業奉仕委員会（2018年9月15日・和田山会場、12月15日・伊丹会場、2019年1月27日・加古川会場、2月2日・淡路会場、3月9日・神戸会場）の講話要旨を、職業奉仕委員会・田中正喜副委員長、宮本圭介委員、池信秀明委員、勇正一郎委員、田中賢一委員から説明があった。

安平和彦パストガバナーが、テーマ「歴史からひもと

くロータリー」より“ロータリーの奉仕哲学と日本の勤勉の哲学”を初期のロータリーが奉仕の理念に目覚めて行った歴史をたどり、日本古来の実業倫理、なかんずく日本の勤勉の哲学とロータリーの奉仕哲学との異同を検証された。2018年RI研修リーダー・本田博己氏の講話・「奉仕の理念」を实践しよう・・との論点の対比はロータリーの基本を理解するうえで興味深いものであった。

文責：職業奉仕委員長 吉岡 博忠（伊丹）



## ロータリー財団セミナー

加古川商工会議所 4階 大会議室



セッションIでは、「エンドポリオ最終章 歴史をつくるカウントダウン」と題して、英 和夫ポリオプラス小委員（姫路）が、財団の最優先項目であるポリオプラスプログラムとGPEI（世界ポリオ撲滅推進活動）の現状・歴史・意義を再確認しました。

次に、ポリオプラスプログラムの重要パートナーであ

るWHO神戸センター医官の茅野龍馬先生より、「WHOと感染症 ポリオの今後と国際保健の課題」と題して講話をいただきました。ポリオワクチン投与の努力が世界の保健システムを著しく向上させるとともに、ポリオを根絶すれば、貧富の差なく全ての子供たちが、一生続く小児麻痺の恐怖から解放され、その経済的利益は500億ドルにも上ると予想される素晴らしいプログラムであるとのことでした。

セッションIIでは、「歴史秘話ヒストリア 一人のロータリアンの小さなひらめきから」と題して、松嶋洋子資金推進小委員（西宮イブニング）が、財団の父といわれるアーチ C. フランクの素朴な「小さなひらめき」から始まり、ロータリアンの無関心や反発を乗り越え、ロータリアンの善意を信じて、決して寄付を強制せず、今日には、高く評価されるようになったロータリー財団の歴史について話されました。

文責：ロータリー財団委員長 石丸 鐵太郎（神戸南）

## ローターアクトクラブ公式訪問

本年度はローターアクトクラブの公式訪問を行いました。訪問に当たって、提唱クラブのロータリアンにも多数参加していただき、また坂東青少年奉仕委員長、古川ローターアクト小委員長並びに青山ローターアクト地区代表を始め、ローターアクト地区役員の方々もご同行いただき、活気にあふれた例会となったことに心より感謝いたします。

私はノミニーの時からローターアクトクラブの公式訪問を考えていました。彼らとしっかりつながることが、ロータリーの未来にとって、とても大切であるという思いからです。

訪問の際に、よく「鰯と鯰」の話をしました。生命力の弱い鰯を運ぶ際に、鯰を一匹、その中に入れることによって、鰯の緊張感が高まり、生きたまま市場へ届けることができるという話です。ローターアクトの皆さんに前進への緊張感を与えることができたとすれば幸いです。

ガバナー 矢野 宗司 (加古川中央)

## ガバナー公式訪問について

今年度、はじめての取り組みとして、ガバナーが各ローターアクトクラブへ公式訪問してくださいました。事前資料の準備、当日の運営など、提唱ロータリークラブの皆さまと一緒にいき、それぞれのクラブ会員にとってとてもいい機会になったのではないかと思います。

矢野ガバナーのお話の中に、「コネクト(connect)」といった言葉が何度も出てきました。今回の公式訪問は、ガバナーをはじめとするロータリークラブの皆さまや各クラブの未来に繋がるものになったのではないかと感じています。

地区ローターアクト代表 青山 翔太 (柏原RAC)

## 豊岡ローターアクトクラブ

10/5  
(金)



今年度は初の自主事業であるけやきボランティアをはじめ、4クラブ合同例会、国際交流イベントなど大きな

イベントが続き、いろいろな場面で会員の活躍がみられた年だったと思います。継続していくことは大変かもしれませんが、今後も楽しんでやっていきたいと思っています。

## 神戸須磨ローターアクトクラブ

11/6  
(火)



神戸須磨ローターアクトクラブは、昨年度新たに設立されたクラブです。活動も会員数も、十分とは言えません。

しかし、それぞれの会員が抱く理想と熱意を集約させ、少数ながらもクラブが一つとなり、少しずつ状況が改善しつつあります。この流れを逃さないよう、例会を通じたコミュニケーションを大切にしていきます。

## 芦屋川ローターアクトクラブ

11/7  
(水)



芦屋川RACは「hugくme」というクラブターゲットで各会員がチャレンジしていきたいことに進んで取り組み、お互いに支え合い、成長していくことを目標にしています。

海岸清掃&BBQを主催し、芦屋川RC・芦屋学園IACと一緒に活動しました、今後もクロスプロモーションを大切にしていきたいと思っています。

## 神戸ローターアクトクラブ

11/8  
(木)



クラブターゲットである「自らのしむ」には、会員それぞれに主体的に活動してもらいたいという思いを

込めています。与えられた課題をこなすだけではなく、会員が手を挙げやすい環境を作り、それぞれが主役として、やりたい事に挑戦していく事を目指します。

## 姫路ローターアクトクラブ

11/14  
(水)



経験豊富なベテランや未経験な新人問わずそれぞれの個性を活かしてローターアクトの活動をしてほしい。

また、その経験をさらに仕事や学業に活かして欲しい。その個性を蓄として、経験を積んでいき、成長して欲しい（＝開花して欲しい）という思いで、今年度のクラブターゲットを「Blooming」とし、メンバーみんなが成長する一年にしたいと思っています。

## 淡路ローターアクトクラブ

12/3  
(月)



淡路RACが今年度の抱負として掲げているのは、卓話でローターアクトを学ぶ。現在のメンバーのほとんど

が会員年数1年未満で分からない事が多いからです。年間で1回地区行事に参加する。2680地区RACとの親睦を深める為です。例会月2回で年間24回実施。会員数が少ない中でも卓話の機会を設ける為です。

## 柏原ローターアクトクラブ

12/14  
(金)



今年度のクラブターゲットには、「相手・自分自身への気づきを得、更なる成長に繋げてほしい」という

想いを込め、【Eureka! Eureka!】（『我、発見せり』：アルキメデスの名言）を掲げています。新たな例会内容に挑戦したり、地域の他団体との交流を図るなど、会員自らで考え、行動・表現したいと思えるクラブを目指しています。

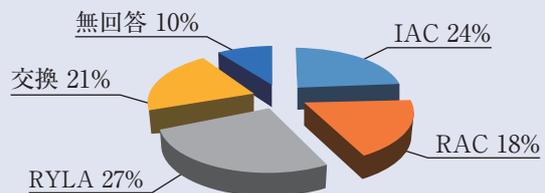
### トロントの国際大会で盛大に祝われたローターアクト50周年



1968年、ルーサー H. ホッジスRI会長の提唱で始まったローターアクトクラブは、現在、世界で10,904クラブ、250,792人のローターアクターが活躍しています。その規模はクラブ数ではロータリーの30%、会員数では20%にも当たります。

### ローターアクトを知っていますか

ローターアクトは、18歳～30歳の若い世代で構成され、リーダーシップや職業スキルを磨き、ロータリアンや地元のリーダーとつながり、同世代との交流を通じて、楽しみながらボランティア活動を行っています。一方、当地区の青少年奉仕委員会がPETSで行った青少年プログラムへの認知度アンケートは、下記の通りです。RYLAが27%に対して、ローターアクトはわずか18%でした。これはローターアクトクラブが8クラブ（実質7クラブ）しかなく、関わるロータリアンが少ないことにも起因します。世界と比較しても、当地区ではクラブ数が8クラブ、ローターアクターは60名弱と大きな差があります。若い世代とのつながりがロータリーにとって、大きな課題となっています。



11月17日(土)◆シーサイドホテル舞子ビラ神戸

ガバナー補佐 岸本 吉充(明石西)

今年のIMは、矢野ガバナーはじめ、10名の来賓のご出席を賜り、開催されました。

現在、社会は、IT、AIの技術を使いビッグデータを駆使して、社会のあらゆるシーンで今まで経験した事のないスピードで変化しています。

その渦中の中心人物である、アマゾンジャパンの

渉外本部長・渡辺 弘美様をお招きして、社員にどのような考え方・行動を奨励して、今後どう変わっていくのかを、お聞きしました。

会場からも多数の質問があり、盛り上がりました。

後半の懇親会では、グループの友情を温めあいました。



## 淡路グループIM

11月25日(日)◆ホテルニューアワジ

ガバナー補佐 森崎 文雄(洲本)

2018年11月25日(日)13時30分より開催しました。

全体テーマは「ロータリーを楽しもう」とし、本会議では安平パストガバナーを講師に迎え「日本ロータリーの100年を振り返って一ロータリー変わり行くもの、変えてはいけないもの」と題してご講演をいただきました。

またグループ内各ロータリークラブより5名のパネリストにて「ロータリーに入って感動したこと、あるいはがっかりしたこと」のテーマでフォーラムを開催し、活発な意見交換を行いました。

本会議の後は懇親会にて交流を深め、新たな友情を育みました。



# 神戸第1グループIM

12月1日(土)◆ANAクラウンプラザホテル

ガバナー補佐 **山本 秀憲**(神戸六甲)

12月1日(土)神戸第1グループIMを開催しました。  
198名のご登録を頂きました事を心から皆様に感謝致します。

「ロータリークラブにとって米山奨学生とは」の演題で、前地区米山記念奨学委員長・前米山評議委員の前田靖文様(神戸ベイRC)にコーディネーターとしてお話を頂きました。

ワークショップでは、パネリスト6名から米山セミ

ナーでは出ないような「1回目テストを受けた時には不合格だったのに2回目は合格した。」「今までテストを受けて不合格だったのは米山奨学会だけだが、不合格の理由が欲しかった」等、生の声が聞けました。

後の懇親会では、多くの方々から今日の話は大変よかったですと言って頂きました。

本当に皆様有難うございました。



## 1 月 ・ 2 月 の 地 区 活 動 予 定

日 時	行 事 名	場 所
1月 8(火) 16:00~	第6回地区運営会議	神戸三宮東急REIホテル3F ローズ
17:00~	第4回奉仕プロジェクト特別会計委員会	神戸三宮東急REIホテル3F ローズ
18:00~	第3回補助金小委員会	神戸三宮東急REIホテル3F ローズ
13(日)	2019年国際協議会(～19日)	米国 サンディエゴ
15:00~19:00	第11回全国RYLA研究会リハーサル	神戸三宮東急REIホテル
19(土) 13:00~17:00	第9回増強拡大オープン委員会in柏原	料亭旅館大和
15:00~17:00	第5回米山記念奨学委員会	JEC日本研修センター
20(日) 10:00~13:00	第5回青少年交換小委員会	JEC日本研修センター
13:00~16:00	2018-2019年度青少年交換長期来日生第5回・ 2019-2020年度派遣候補生第4回オリエンテーション	JEC日本研修センター
21(月) 17:30~	第6回規定審議委員会	神戸三宮東急REIホテル3F ローズ
26(土) 13:30~16:30	第21回発達障害理解のための基礎と実践講座	神戸芸術文化センター
27(日) 13:30~16:00	職業奉仕公開委員会(第4グループ)	加古川商工会議所
	第41回RYLAプレカウンセラーミーティング	未定
2月 2(土) 13:30~16:00	職業奉仕公開委員会(第5グループ)	ホテルニューアワジ夢海游
5(火) 16:00~	第7回地区運営会議	ガバナー事務所会議室
10(日)	青少年交流会	未定
13(水) 17:00~18:00	第3回ガバナー諮問委員会	神戸ポートピアホテル
17(日)	2019年地区チーム研修セミナー	神戸ポートピアホテル
23(土) 14:00~16:00	2020学年度 米山記念奨学金説明会	JEC日本研修センター
24(日)	余島国際青少年リーダー養成セミナー (YIYLS) カウンセラーミーティング	未定

# 龍野ロータリークラブ創立60周年記念式典

11月17日(土)◆ホテル日航姫路

クラブ幹事 高田 真也(龍野)

今年度龍野ロータリークラブは60周年を迎え、11月17日、「龍野クラブ 創立の理念への回帰〜良き伝統を維持するために〜」のスローガンの下、ホテル日航姫路に於いて記念式典を挙行了しました。

式典の中で、ロータリー歴40年に及ぶ大先輩ロータリアンへの記念インタビューを行い、現役会員の知らない昔のクラブの雰囲気や諸大先輩方のご苦労話とか、或いは龍野クラブの課題や将来への期待など、示唆に富んだ数々のお話を伺い、ロータリーの真髄に触れる充実した時間を持つことが出来ました。

「温故知新」、これを機に龍野クラブは、新たな

気持ちで今後のロータリー活動に取り組むことを確認しました。



## 伊丹RC 第60回サンクスギビングディ デイナーパーティ

11月23日(金・祝)◆伊丹シティホテル3階光琳の間

クラブ国際奉仕委員長 榎井 俊司(伊丹)

当クラブ主催である例年継続実施のサンクスギビングディ デイナーパーティは、11月23日、正に勤労感謝の日、会員全員の手作りでお陰様で連続開催することが出来ました。第60回の還暦記念として、わが国固有の文化披露を企て、“静”の能楽“羽衣”の舞、“動”のよさこい連の賑やかな踊り他、多くの催しは、無事盛況！と自画自賛。

祝日にも拘わらず、矢野宗司ガバナーを始め、パストガバナーの方々、藤原保幸伊丹市長、米山奨学生、青少年交換来日生、RYLA学友、12ヶ国の若人等々、159人にご参集頂き、ありがとうございました。



# 米山日本文化セミナー

11月18日(日)◆西宮神社・白鹿酒ミュージアム・名塩和紙学習館・六甲山ガーデンテラス

米山記念奨学委員長 秦 紳一郎(洲本)

本年度も、小春日和の好日、西宮市を中心に開催いたしました。このセミナーは奨学生たちに日本の伝統的文化に触れ、日本への理解を深めてもらうと共に、奨学生同士の親睦を目的に開催しており、今回は奨学生19名、米山学友3名、ロータリアン27名の計49名という多数の参加を得ました。

行程は西宮神社を参拝とお神楽見学と境内の見学。辰馬本家酒造(株)の白鹿酒ミュージアムの見学。昼食の後、西宮市立の名塩和紙学習館にて紙漉(かみすき)体験をし、夕方には六甲山ガーデンテ

ラスで、神戸の1,000万ドルの夜景に感動して一日を終えました。



## 国際ロータリー「ロータリー学友ネットワーク」加盟認証状伝達式

12月1日(土)◆神戸ポートピアホテル

RYLA学友会 会長 奥田 裕(神戸モーニング)

当地区のRYLA学友会が、国際ロータリーによって「ロータリー学友ネットワーク」への加盟が正式に認められるという、重要なターニングポイントである認証状伝達式が執り行われました。

この門出をRYLA修了生やカウンセラー、関係者、ロータリアンの皆様など、今まで関わりのある方々と一緒にお祝いできましたことに感謝しております。また、RYLAが取り持つ縁で他地区からお越しいただいた方々や、同じ青少年団体であるロータリーファミリーの皆様にもご披露できましたことを、誠に光栄に存じます。

また一つ成長したRYLA学友会がこれから歩む道筋にご期待ください。



芦屋川ロータリークラブ

## セクシュアルマイノリティ理解のための講演会

セクシュアルマイノリティについて学び、理解を深めるための講演会。講師は、宝塚大学の日高庸晴教授。講演では、LGBT/性的マイノリティとは？ またその人口比、性的マイノリティに対する虐待事件（米国）を含む憎悪犯罪、性別取扱変更の要件と学校での支援、いじめ被害・不登校・自傷行為などの生涯経験率と内訳、思春期におけるライフイベントとカミングアウト等に関して、お話をしていただいた。

印象的だったのは、思春期に性的マイノリティだと自覚し、回りが気づいたとき、いじめ被害を受けることが多く、それに伴い不登校や自傷行為に及ぶことが多いこと。また、アメリカの実験撮影で、LGBTの客に店側の人間が差別的な言動をし、他のお客の反応を見るというものも興味深かった。

ご参加の方々にとってLGBTを学び、考える機会となったと実感した。

(文責：社会奉仕委員長 石川 淳朗)

▶10月21日(日)

▶芦屋市民会館

プロジェクト予算総額：178,376円 地区補助金額：89,188円



宝塚ロータリークラブ

## 地域の子どもたちとの触れ合いを創る交流イベント

フレミラ宝塚（市立老人福祉センターと市立大型児童福祉センターの複合施設）が主催するコミュニティイベント「フレミラ祭り」にブース参加し、エコ風船にメッセージや絵など、夢や希望、将来など創造的な未来を描いてもらい、その想いを風船に託して配布を行いました。

イベントでは約700人の参加があり、当ブースでは276個の風船を1個50円で販売し、全額を宝塚市社会福祉協議会を通じて寄付を行いました。

当日はクラブのメンバーの他、雲雀丘学園インターアクトクラブにも参加いただき、受付集金業務、子どもたちと一緒に絵を描いたり、風船にヘリウムガスを注入する作業を行ったり、宝塚市社会福祉協議会のイメージキャラクターである「スマレン」のぬいぐるみの中で交代で入ってもらい子どもたちとの交流を行いました。

(文責：社会奉仕委員長 仲内 悦治)

▶10月27日(土)

▶フレミラ宝塚

プロジェクト予算総額：88,864円 地区補助金額：44,182円



## 尼崎南ロータリークラブ

### 市立高等学校吹奏楽部の活動支援

尼崎市立尼崎高等学校吹奏楽部部員162名、教職員保護者80名と、部員の増加と使用楽器の老朽化という課題を共有し、ロータリークラブから必要な楽器を贈呈することで応えることができた。

贈呈式は、同部の定期演奏会内で行われ、会場満員1800名の来場者の前で、ロータリークラブの活動及び意義を伝えることができた。

今後も吹奏楽部が行う、地域行事など年間100日近くのステージ演奏活動により、学校内外に音楽文化をまちに発信し、また、青少年が研鑽、友情、貢献を通じた人格形成を行う場をロータリークラブとして下支えることの大切さを感じた。

(文責：青少年奉仕常任委員長 小島 成介)

▶11月7日(水)

▶あましんアルカイックホール(尼崎市昭和通2-7-16)  
プロジェクト予算総額:986,558円 地区補助金額:493,279円



## 神戸西神ロータリークラブ

### 保護司の活動に理解を深めるための講演と映画上映

今回のプロジェクトには、神戸市西区周辺の一般市民の方々、108名が参加してくれました。

野口弁護士の講演では、犯罪を起こした少年少女の背景、心情、そして更生していく過程での周囲の大人の関わりの重要性を学びました。

映画「君の笑顔に会いたくて」では、保護司の活動だけではなく、苦悩、葛藤が表現されておりました。一般市民の方々が知らないところで、保護司の方が大変な苦勞をしながら少年少女の更生をお手伝いしていることを知ることができました。

また、当クラブでは、4名の保護司と2名の弁護士が在籍しています。さらに、地域でのPTA活動などを積極的に行っている会員もおり、今回のプロジェクトで、会員同士で地域活動について話す機会を持つことができました。

(文責：社会奉仕副委員長 香川 真二)

▶11月10日(土)

▶神戸市西区民センター なでしこホール  
プロジェクト予算総額:353,055円 地区補助金額:176,527円



職業奉仕委員長 吉岡 博忠(伊丹)

伊丹ロータリークラブが提唱し、2017年11月にグローバル補助金を申請したVTTプログラム(GG1865145)バヌアツ・ホテルマネジメント能力向上プロジェクトは、RC Port Vila (RID 9910)を相手国側提唱クラブ、協同提唱クラブとして地区内20クラブ、協力機関として20団体が参加し、2018年5月11日にロータリー財団の承認を得て、伊丹ロータリークラブVTT実行委員会(委員長・中島勝美会員)のサポートにより実施しました。

その他：伊丹市長表敬訪問、伊丹ロータリークラブ例会出席、小学生との交流会(新聞報道)、日本酒工場見学(小西酒造)のプログラムを実施し、またロータリーデーひょうごフェスタに登壇し広く紹介されました。成果報告会では、4名の団員から熱のこもった大きな成果の報告があり、帰国後、日本で習得した成果をバヌアツ共和国観光産業発展に寄与してくれるものと期待しています。

重点分野：経済と地域社会の発展

目的：日本のホテルの質の高いマネジメント研修を通して、バヌアツ共和国の将来を担う人材育成を援助する。

ニーズ：バヌアツ共和国GDPの40%を占める観光産業育成、その中心となるホテル業界の人材育成は国家としての課題であり、日本のより質の高い「おもてなしの心」を学び、世界水準のサービス提供を目指し、バヌアツ人によるホテルマネジメントを実現したいというニーズ

研修対象：バヌアツ人ホテルマネージャー 4名  
(男性3名、女性1名)

研修期間：2018年10月4日～11月12日(40日間)

研修場所：神戸ポートピアホテル、神戸ベイシェラトンホテル& Towers

予算：3,879ドル(4,422,000円)

研修内容：上記2ホテルではマネージャーとしてのフロント、客室部門、飲料部門等々の通常業務を研修し、特別研修として、大阪・京都の一流ホテル、城崎温泉老舗旅館で研修を実施し大きな成果を得ました。



毎日新聞による報道記事



# 新会員紹介・一緒にロータリーライフを楽しみましょう (敬称略・クラブ順)

## 西宮イブニング



石田 朱美  
証券業  
9/1入会



竹内 博之  
信用組合  
7/25入会



大橋 俊夫  
貨物自動車輸送  
9/12入会



上月 規秀  
司法書士  
11/28入会



和田 貴俊  
バス事業  
11/1入会

## 小野加東

## 和田山

# ご寄付感謝・ありがとうございます (敬称略・クラブ順)

## メジャードナー

## ポール・ハリス・ソサエティ

## ベネファクター

## マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



浅木 幸雄  
(神戸)



小坂 圭一  
(尼崎東)



長井 敏彦  
(芦屋)



小坂 圭一  
(尼崎東)



武部 恭一  
(尼崎東)



北 政十郎  
(川西)

## マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



齋田 肇  
(西宮夙川)

## 米山功労者メジャードナー(10回)

## 米山功労者(8回)

## 米山功労者(7回)

## 米山功労者(4回)

## 米山功労者(3回)



北 政十郎  
(川西)



杉浦 誠一  
(尼崎東)



森 正春  
(上郡佐用)



北川 博崇  
(川西)



藤井 輝男  
(尼崎東)



小坂 圭一  
(尼崎東)

## 米山功労者(2回)

## 米山功労者(1回)



石本 一也  
(尼崎東)



齋田 肇  
(西宮夙川)



光斎 信治  
(神戸須磨)



的場 眞司  
(尼崎東)



森友 潔  
(川西)

## 規定審議委員会からのお知らせとお願い

規定審議委員長 大内 晋二(神戸須磨)

2018年決議審議会が1ヶ月間開催され11月15日に閉幕し、その審議会の結果が発表になりました。地区委員会ではクラブ内で結果を検討していただくため資料「決議審議会結果一覧」を作成し、地区内クラブへ送信しております。ご確認ください。

さらに、2019年規定審議会が来年4月に開催されますが、その議案となる制定案集(日本語版)が発表になりました。制定案の全容詳細は“My Rotary”に掲載されています。

また、地区委員会では、制定案に関する地区内クラ

ブのご意見を集約するためアンケートを実施させていただくことにしております。アンケート結果を審議会の参考にさせていただき、との代表議員滝澤功治パストガバナーの要請により実施するものです。ご協力くださいますようお願いいたします。

上記の①決議審議会結果一覧、②2019年規定審議会制定案、③アンケート実施要領などを、国際ロータリー第2680地区HPからも簡単に閲覧できるようにいたしますので、ぜひご活用ください。

## ガバナー事務所からのお知らせ

### ◆地区委員の委嘱

国際奉仕委員会委員 佐茂 省治(尼崎中)

### ◆2019-20年度地区行事

#### 2019年会長エレクト研修セミナー(PETS)

2019年3月17日(日) 場所:神戸ポートピアホテル

#### 2019年地区研修・協議会

2019年5月11日(土) 場所:神戸ポートピアホテル

#### 2019-20年度会員増強セミナー

2019年6月8日(土) 場所:神戸ポートピアホテル

## ご冥福をお祈り申し上げます



故 吉見 二郎 氏(川西猪名川)

11月27日 享年89歳

# 国際ロータリー第2680地区 2018年11月出席報告

	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数						増	減		クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数						増	減	
				7/1の会員数		当月末会員数		増減								7/1の会員数		当月末会員数		増減				
				総数	うち女性	総数	うち女性	総数	うち女性							総数	うち女性	総数	うち女性	総数	うち女性			
尼崎6	尼崎	4	83.47	31	1	32	1	1	0	東播第14	明石	4	100.00	46	0	47	0	1	0					
	尼崎北	3	88.03	39	0	39	0	0	0		明石西	4	99.22	35	2	34	2	-1	0					
	尼崎東	4	95.95	44	0	45	0	1	0		明石北	4	93.17	42	0	41	0	-1	0					
	尼崎西	4	86.71	35	2	39	2	4	0		明石南	3	98.33	21	0	20	0	-1	0					
	尼崎南	4	89.43	33	4	37	4	4	0		小計		97.68	144	2	142	2	-2	0					
	尼崎中	4	77.77	23	1	26	3	3	2		高砂	4	97.09	41	3	43	3	2	0					
	小計		86.89	205	8	218	10	13	2		加古川	4	80.04	78	0	76	0	-2	0					
阪神第16	伊丹	4	86.04	42	0	43	0	1	0	東播第25	加古川中央	5	84.15	59	0	58	0	-1	0					
	川西	4	93.96	31	6	31	6	0	0		高砂青松	4	80.56	43	2	43	2	0	0					
	伊丹有明	2	94.44	19	0	18	0	-1	0		加古川平成	3	87.55	16	1	16	1	0	0					
	川西猪名川	3	88.47	21	3	19	3	-2	0		小計		85.88	237	6	236	6	-1	0					
	伊丹昆陽池	3	87.50	8	0	8	0	0	0		東播第35	三木	3	100.00	51	0	52	0	1	0				
	西宮イブニング	3	86.21	20	8	22	10	2	2			小野加東	4	90.30	45	1	48	1	3	0				
小計		89.44	141	17	141	19	0	2	北条	4		100.00	37	2	38	2	1	0						
阪神第26	西宮	4	100.00	54	0	55	0	1	0	淡路5	西脇	4	98.30	46	0	47	1	1	1					
	芦屋	4	80.50	41	0	41	0	0	0		三木みどり	3	100.00	32	1	32	1	0	0					
	甲子園	4	85.85	38	2	41	2	3	0		小計		97.72	211	4	217	5	6	1					
	西宮夙川	4	90.80	34	3	35	3	1	0		淡路6	洲本	4	93.18	33	1	33	1	0	0				
	芦屋川	4	85.01	29	4	29	4	0	0			南淡路	4	91.38	29	3	29	3	0	0				
西宮恵美寿	5	86.06	24	5	27	5	3	0	淡路三原	4		95.49	18	1	19	1	1	0						
小計		88.04	220	14	228	14	8	0	津名	5		93.59	31	1	32	1	1	0						
阪神第38	宝塚	4	93.75	21	2	20	2	-1	0	西播第16		あわじ中央	4	95.65	24	0	24	0	0	0				
	三田	3	88.89	20	0	20	0	0	0		小計		93.86	135	6	137	6	2	0					
	篠山	4	100.00	45	0	45	0	0	0		姫路	3	95.68	82	0	88	0	6	0					
	柏原	4	86.08	49	0	49	0	0	0		姫路南	4	100.00	75	0	77	0	2	0					
	宝塚武庫川	4	80.77	37	1	37	1	0	0		姫路西	4	81.06	71	2	71	2	0	0					
	三田南	4	100.00	8	0	8	0	0	0		姫路东	4	100.00	67	2	68	2	1	0					
	宝塚中	4	90.61	31	8	31	8	0	0		神崎	4	83.91	26	0	28	0	2	0					
	HYOGO REC	4	65.00	24	5	24	6	0	1		姫路中央	5	100.00	4	0	4	0	0	0					
小計		88.14	235	16	234	17	-1	1	小計		93.44	325	4	336	4	11	0							
神戸第16	神戸	4	87.59	161	2	162	3	1	1	西播第24	赤穂	4	94.83	34	0	34	0	0	0					
	神戸東	4	85.21	113	0	111	0	-2	0		相生	4	100.00	34	2	35	2	1	0					
	神戸東灘	4	83.32	27	4	29	4	2	0		龍野	4	95.74	49	5	46	5	-3	0					
	神戸南	4	76.05	82	0	85	0	3	0		上郡佐用	4	97.83	24	8	23	8	-1	0					
	神戸六甲	3	76.53	15	0	16	0	1	0		小計		97.10	141	15	138	15	-3	0					
	神戸ベイ	4	90.10	19	2	20	2	1	0		但馬5	豊岡	4	96.57	38	0	39	0	1	0				
小計		83.13	417	8	423	9	6	1	生野	4		82.62	22	0	22	0	0	0						
神戸第27	神戸西	4	87.79	50	5	50	5	0	0	香住		4	95.84	12	0	13	0	1	0					
	神戸須磨	4	98.34	31	0	31	0	0	0	豊岡円山川		4	93.27	27	0	27	0	0	0					
	神戸北	4	70.36	18	1	18	1	0	0	和田山		5	88.80	24	2	25	2	1	0					
	神戸垂水	4	94.47	25	4	26	6	1	2	小計		91.42	123	2	126	2	3	0						
	神戸西神	5	95.60	39	1	38	1	-1	0	合計	73RC		91.03	2,763	118	2,811	129	48	11					
神戸中	3	91.74	38	3	39	4	1	1																
神戸モーニング	5	96.55	28	2	33	3	5	1																
小計		90.69	229	16	235	20	6	4																

◆クラブ数…………… 73RC  
 ◆2018年7月1日 クラブ会員数……………2,763人  
 ◆2018年11月末 クラブ会員数……………2,811人

◆2018年11月末女性会員数…………… 129人  
 ◆2018年11月平均出席率……………91.03%  
 ◆増減…………… 48人増

我が子にも食べさせたい  
安全・安心の食づくり  
未来を担う子供達のために…



印南では安全・安心とおいしさの追求に  
積極的に取り組んでいます。

わが子にも食べさせたい。想いをこめて、60余年。

## 印南養鶏農業協同組合

〒675-1112 兵庫県加古郡稲美町六分一 1362-40

TEL 079-495-0080

FAX 079-495-1256

<http://www.innami.or.jp>



国際ロータリー第2680地区

ガバナー 矢野 宗司

事務所

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-10-1 神戸ポートピアホテル本館7階722号室

TEL : 078-304-2680 FAX : 078-304-2681

E-mail yano2680@arrow.ocn.ne.jp